

ら い 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 100 1月号

2014年1月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

URL <http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(URL:<http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/m/>)

読書と私 No.92

「私とは誰か Qui suis-je?」 龍野町 大堀 美香

人の体はその食べた物で造られると言う。であるなら、人の思考や精神はその読んだ本で造られると言えるのではないか。つまり「私はどのような思考・精神の持ち主か」という問いはすなわち「私はどんな本を読んできたのか」という問いに置き換えられると仮定できるのだ。この仮説を試行してみよう。「私とは誰か」(アンドレ・ブルトン著『ナジャ』の第1行目より)

【子供時代】

いつからいつまでを子供時代と呼ぶのかは異論もあろうと思うが、ここでは漠然と頭の構造がそれほど固まっておらず、またごく狭い世界しか知り得なかった時期とする。

私が夢中になって読んだ本と言えば子供向けにリライトされた『今昔物語集』。「今ハ昔」で始まるさまざまな説話は幼い私の想像をかき立て、私が短編が苦手な原因は単にこれに勝る短編を未だに知り得ないからだと言える。

【思春期～青春時代】

この頃は澁澤龍彦に尽きる。「私」の約1/3は澁澤龍彦でできているとって過言ではない。その影響から三島由紀夫にたどり着いた。三島先生は私としては意外にも短編によいものが多い。また、この頃はまだ先生が自刃された理由をこれっぽっちも理解していなかったが、後に長谷川三千子著『神やぶれたまはず 昭和二十年八月十五日正午』を読んでその片鱗が理解されたような気がしている。皮肉にもそれは澁澤による分析とは相容れない部分が多いのだが。

【現在】

最近読んで面白かった本は J.C. マイケルズ著『ファイアベリー 考えるカエル、旅に出る』という児童書だ。といっても帯の惹句に「おとなも楽しめる哲学童話」とあるように、おとなだからこそこの物語の真の姿を垣間見ることができるのではないだろうか。普通に読めばおそらく泣ける要素は全くないのに、ほろほろと涙がとまらなくさえた。

さて、試行は未完に終わるが「私」とは一体誰だったのか。ちなみに『ナジャ』の登場人物ナジャは最後には精神を病んでしまうのだった。



『ナジャ』アンドレ・ブルトン 著
岩波書店

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『知っておきたい 和菓子のはなし』 小西 千鶴 著 旭屋出版

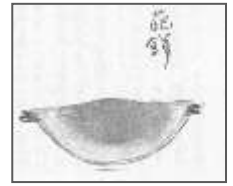


和菓子は、お茶とともに、又、食後に用いられる食べ物の一つとして身近に親しまれている。心身を和らげ、憩いの雰囲気こそはかとなく漂わせ、心のどかな思いに包ませてくれる。

本書は、歴史上の人物、伝統行事、茶道などに深く関わりのある数々の和菓子のエピソードを、古今の数多くの文献にてらして、わかりやすく解説している。

伝統行事に欠かせない餅は、西暦300年代にはすでに存在していた。平安朝初期には、宮内庁に餅搗の官名があり、餅を司ることは官営の仕事であったという。そして、鏡餅は宮中の正月の正式儀式に用いられた。鏡餅の上に薄く延ばした円形の白餅の大葩と、その上にのせる菱形小豆餅

の大菱は菓子化され、「はなびらもち」といわれる。蜜だき牛蒡と白味噌餡を芯にして、編笠のように二つ折りにして包みこんだもので、桃や桜の花びらに見立て薄紅が透き通る、ほんのりした姿の新春菓子である。又、1月に宮中で行われる“歌会始”のお題（お勅題）にちなんで、老舗の菓子屋がそれぞれのアイデアで自慢のお菓子を出すなどの習慣が紹介されている。



著者は、和菓子で表現されるその形は花鳥風月の雅びであり、日本人の繊細なる美意識の芸術作品であると述べている。

昨年末、和食はユネスコの世界無形遺産となった。日本の美しい四季の自然と暮らしの中で育まれた和菓子も、身近で大切に残していきたい伝統の一つである。（揖保川図書館 竹内）

トピックス

臨時休館のおしらせ

図書館システム入替作業のため下記の期間全館を臨時休館します。インターネット上のサービスも利用できません。

臨時休館：1月22日(水)～1月31日(金)

- ・長期休館となるため 1月8日(水) より 1人20冊 まで4週間の貸出をします。

新宮図書館は同時に空調工事を実施するため、休館期間が他館より長くなりますのでご注意ください。詳しくは図書館カレンダーをご覧ください。

休館中はお不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



2月からは…



- ◎ 図書館システム、端末を一新し、館内での蔵書検索やインターネットがスピードアップ!
- ◎ 利用者のご要望にお答えし、インターネット上のサービスもレベルアップ!
 - ・蔵書検索が簡単に
 - ・本の状況をリアルタイムに反映
 - ・予約の確保もメール連絡が可能に
 - ・スマートフォン用画面も用意

おすすめする子どもの本・93

『ムースの大だいこ カナダ・インディアンのおはなし』 秋野 和子 再話 福音館書店

それはいつもよりうんと寒い冬のこと。吹雪が何日も続いて、狩りもできず、干した肉や魚は底をつき、食べるものがなくなってしまいました。首長たちは集まって相談し、森に住むメディシンマン

に聞いてみることにしました。メディシンマンは、森や獣や薬草の秘密を知り、病気や災難に打ち勝つ力をもっています。

メディシンマンはしばらく考え、ムースという大きな鹿の皮を張った大だいこを運び出しました。そして、首長たちが見守る中たいこを叩き始めると、その音は山々にこだまし、氷原の果てまでひびきました。

夜が明けると、音に引き寄せられた人々が集まってきました。

大だいこを叩き始めて3日目の夜、たいこの音がしだいに早まりました。やがて東の空が明るくなり、明けの明星が輝き始めたころ、大だいこに影のようなものが浮かび上がりました。それは、ムースの群れでした。男たちはたいこに映る見覚えのある地形に気が付くと、走り出しました。

白地に黒の線で描かれる雪と氷に閉ざされた極限の世界で、炎や星やオーロラは鮮やかな彩色によって輝くように浮かび上がります。厳しい自然と、それに対峙しながら育まれた人間の生活のコントラストが美しい一冊。読んであげるなら6歳から。

(新宮図書館 佐々木)

『アバラーのぼうけん』 ベバリイ・クリアリー 作 学習研究社

犬のアバラーは、ヘンリーくん一家と暮らしています。ヘンリーくんに見つけられた時、あばら骨がすけて見えるくらいすごくやせていたので、アバラーと名付けられました。

ある日、新しい緑のステーションワゴンに乗り、一家揃ってショッピングセンターへ買い物に行くことになりました。車の中でヘンリーくん達を待つうち、窓が開き外に飛び出したアバラーは、広い広い駐車場で迷子になってしまいます。犬特有の嗅覚を使ってヘンリーくんの匂いを探そうとしますが、見つかりません。ステーションワゴンをやっと見つけて乗り込みましたが、別の家族でした。その車は、アバラーの思いとは裏腹にヘンリーくんの家からは逆の方向に帰っていきます。そこからアバラーの冒険が始まります。乗り込んだ車の主のディングリー家では、体中を泡だらけにされながらやっとの思いで逃げ出し、ひとり

暮らしのフローリーさんの家では、人間のよう扱いをされていやになり飛び出します。次に入り込んだ高校では、フットボールの試合の真っ最中でアバラーも参戦してしまい大騒ぎになります。迷子になったアバラーは、最初はとまどいと不安でいっぱいでしたが、行く先々でたくさんの人々と出会ううち、楽しさも感じていきます。迷子になってから1カ月間、無事ヘンリーくんの家へ戻るまでのアバラーの大活躍が描かれています。ヘンリーくんシリーズ全14冊のうちの1冊。小学4年生くらいから。

(龍野図書館 河部)



各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段) ・ 時間(下段)	1月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	0～3歳児、保護者 第2・第3土曜日(11時～11時20分)	11日・18日 『ゆきのひのうさこちゃん』他
	●子どもの本を読む会	一般 第2木曜日(10時～11時30分)	9日 『少女ポリアンナ』 エリナー・ポーター 著
	読書会	一般 第2金曜日(10時～11時30分)	10日 総会 — 平成26年度年間計画 —
	龍野図書館講座「親子で楽しもう！おもしろ実験」 講師:上田 倫範 氏 【日時】1月26日(日) 10時～11時30分 【場所】 龍野図書館 2階研修室 【対象】小学3年生以上の親子 【定員】 20組 事前申込要 *システム入替のため休館中ですが講座は実施します		
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 第1月曜日(11時～11時20分)	6日 『ぺんぎん ほいくえん』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ 土曜日(11時～11時30分)	4日 『ゆきむすめ』他
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	11日・18日 『てぶくろ』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	11日・18日 「ねむりひめ」他
	読書会	一般 第3金曜日(10時～12時)	17日 『夜と霧』 ヴィクトール.E.フランクル 著
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	0歳児～、保護者 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	12日・19日 『てぶくろ』他
	読書会	一般 第2火曜日(13時30分～15時30分)	今月は休み